

沢登り 丹沢：セドノ沢右俣

- ◆日程 2019年9月28日(土)
- ◆メンバー L：小山田、岡村、須田、大塚、前田(キャンプのみ参加)
- ◆天候 晴れ

10月を目前にして大分暑さが和らいできた。秋になって初めての沢だ。しかも3ヶ月ぶりに戸沢キャンプを挟んで翌日も沢(新茅ノ沢)に参加できる「沢合宿」第二弾だ。

須田さん、岡村さんの車に小山田さんと私が分乗して出発、東名高速海老名SAにてキャンプ参加の前田さんと合流、戸沢に向かう。

テント設営は前田さんにお任せし、早速準備して入溪。途中トップを歩かせて頂きながらセドノ沢入口、そしてF1へ。須田さんがトップで上がり、メンバーも順次続く。F2, F3をクリアしたころ、滝の水流が起こす風に乗って腐敗臭が漂ってきた。小山田L、岡村さんによれば9月7日にここを登った時に見かけた鹿の死骸だそう。

いよいよ本日のメインイベントの大滝(F4)に取り掛かる。手持ちのロープでは届かない高さのため、2段に分けることにし、1段目はまず岡村さんが登り、皆も続く(写真上)。次いで2段目に小山田Lが挑む。滝の左脇にあるピンに支点を取りながら進むが、地層のバンドに入るためにいったん右にトラバースして滝に打たれなければならない。果敢に突入し、バンド沿いに再び左側に。小さなスペースを通り抜けて支点確保。次いで須田さんが登り、ロープ末端にお助けヒモを繋いだ状態で更に先に進んで最終支点を確保。岡村さんが小山田Lの待つ中間点まで上がり、小山田Lが最終点に移動。最後に自分の番だ。小山田Lが残してくれたスリングを回収してから滝の真下を通過し、何とか中間点そして最終点へ。目的の大滝をクリアして詰め上ると見覚えのある登山道、書策新道だ。



ほどなく表尾根に到達。武装解除して、戸川キャンプ場に帰還。前田さんが寛ぎの空間を用意して待っていてくれた。

お楽しみの焚火と、美味しい秋刀魚を始めとした焼き物、そしてメインディッシュのパエリヤ(写真下)を頂く贅沢なディナーを存分に楽しんだ。

翌日の新茅ノ沢は天候不順のため残念ながら中止となったが、キャンプとセットのこの企画、次はより多くの仲間と盛り上がりたいたいものだ。

CT: 戸川キャンプ場 8:00/8:30 -

セドノ沢入口 9:15 - F1 9:30/10:00 - F4 10:50/12:30 - 書策新道 13:00 - 書策小屋跡 13:10/13:30 - 正次郎尾根 13:35 - 戸川キャンプ場 14:30 (泊) - 9月29日(日) 7:00 解散